

Much Better

校長 香山 和昭

陽春の候、保護者、地域の皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

年度末・当初人事異動により8名の先生方が転出され、新たに7名の先生方が転入・着任いたしました。転出された先生方の思いやたくさんの功績を踏まえ、新たな1年のスタートを迎え、身の引き締まる思いであります。4月8日は陽光の温かさに春の息吹を感じる満開の桜の中、入学式・始業式を盛大に挙行することが出来ました。開校73年目の今年度は、新入生34名を迎え、全校生徒119名、6学級（1年1学級、2年2学級、3年2学級、特支1学級）でスタートを切ることになりました。

さて、4月は、希望の月です。希望や夢は目的や目標となり、課題を乗り越え、やがて現実になります。4月はその出発の月です。入学式・始業式の式場では、一人一人が新たな希望や夢をもって、キラキラと輝いていました。この輝きは意欲の表れだと思います。平野中学校ではそうした生徒の期待に応えるべく、教職員が一丸となって教育活動を進め、生徒の健全な成長を支えて参りたいと思います。これまで築き上げた本校教育の継承とともに新たな創造による教育を進め、「生徒・教職員・地域の誇りとなる学校」となるよう学校経営に全力で取り組んでいく所存です。よろしく願いいたします。

本校の学校教育目標は、本校が目指す生徒像でもあります。学校教育目標の達成に向け、今年度は、合言葉を設けました。

「Much Better ～かがやきサイクルで鍛え、高める～」です。

【学校教育目標】 「豊かに かしこく たくましく」

【合言葉】 Much Better (さらによりよく) ～かがやきサイクルで鍛え、高める～

【めざす生徒像】 <具体的目標>

○豊かに (心豊かな生徒)

- (1) さわやかな態度・服装で、明るくあいさつをすることができる。
- (2) 人の苦しみ悲しみを受け止め、理解し、思いやりを行動に表すことができる。

(3) 自分に自信を持ち、人との関わりを大切にしながら共に高め合うことができる。

○かしこく（自ら学ぶ生徒）

- (1) 自分から進んで、考え、計画的に学習に取り組むことができる。
- (2) 時間を守り、上手に使うことができる。
- (3) 「ことば」を大切にし、時と場を考え、礼儀正しくふるまうことができる。

○たくましく（心も体も強い生徒）

- (1) つねに自己を見つめ、正直に生きることができる。
- (2) いろいろなことに挑戦し、現状をさらによりよくしようとすることができる。
- (3) 健康でたくましい身体と精神力を築こうとすることができる。

【めざす学校像】

「夢をはぐくみ、感動・笑顔・活力のあふれる学校」

- 一人一人が夢や目標を持ち、活躍する学校（充実した生き方・授業・部活動等）
- 互いに認め合い、高め合い、学び合う学校（感動する学校行事等）
- 地域と共に伸びようとする学校（小中一貫教育・地域活動等）

【学校経営の基本理念】 「共に学ぶ 安心・安全の保障 信頼関係づくり」

- 学校は教師も子どもも磨き合う場である。
- 学校は美しく、安心・安全な場である。
- 学校は信頼から成り立つところである。

※アンダーラインは今年度の変更点

Much Better は、「さらによりよく」という意味です。本校で、昨年度から取り組んでいる「かがやきサイクル」は学習で言えば、「予習・授業・復習」のサイクルであり、すべての活動に通じる大切なものです。テストや行事、部活の大会、学級・学年の取り組みでも、よい準備こそが本番につながります。そして、実践したことを踏まえて振り返り、課題を見つけ、新たな目標を設定し、準備・練習して、鍛え、高めることで、**Much Better** = 「さらによりよく」が実現できます。「かがやきサイクル」の取り組みは、生徒の可能性を開花させ、生徒の力を伸ばすルーティーンとも言えるもので、めざす学校像、生徒像、更には、学校教育目標の達成に近づくことができるものと考えます。是非力を入れて取り組んで行きたいと思えます。

「教育は人なり、教育は信頼なり」は私の教育信情です。学校

はまさに「人財」を育成するところです。生徒を育てるのは人という環境です。「信頼と絆」のある所にこそ有能な「人財」を育てる基盤があると確信しています。是非、学校、家庭、地域の皆様との信頼と絆を大切に、「子どもたちが学びたくなる学校」「保護者が通わせたい学校」「教職員が勤めたい学校」「地域とともに伸びる学校」づくりに全力で取り組んでまいります。

保護者、地域の皆様には、今年度も本校の教育活動に御理解・御支援を賜りますようどうぞよろしくお願いいたします。

○小中一貫教育も継続して取り組んで参ります。○

平成25年度よりスタートした平野小学校との小中一貫教育の取組は、今年度以降も文部科学省の教育課程特例校の指定を受け、継続して進めて参ります。特例校の利点を生かした「架け橋科」の授業実践、外国語活動・英語科、算数・数学科の乗り入れ授業や、中学校教員の専門性を生かした小学校での出前授業、あいさつ運動等のこれまでの取組から得た成果を生かすとともに、平野小・中一貫教育の目指すゴールは中学校3年生の姿ととらえ、全教科・領域での「9年間の学びの系統性」に視点を当てた「学びの系統表」に基づき、これからも小学校とともに力を合わせて研究・実践を進めて参ります。